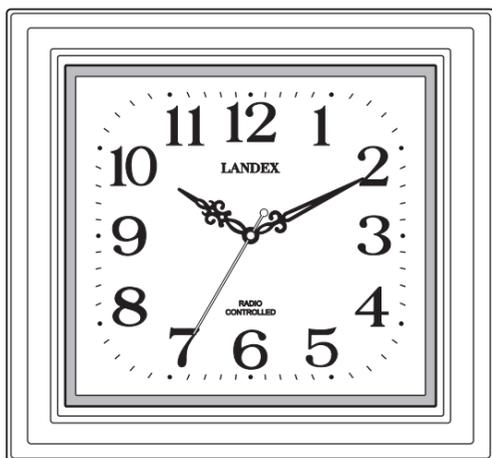


電波掛時計 門時 MONJI

取扱説明書（保証書付）



⚠ 当製品はガラスを使用いたしております。ガラスが破損する
△ 注意 とけがの原因となりますので、取扱いに十分ご注意ください。

この度は当製品をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく使用
いただきますようお願い申し上げます。なお、読み終わった
あともお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

製品仕様

- 商品名：門時
製品型番：YW9195
使用環境温度：+5℃～+40℃
本体サイズ：350(幅)×327(高さ)×50(奥行)mm
時間精度(常温中)：±1秒/月(標準時刻電波の受信に成功した直後)
±60秒/月(標準時刻電波を受信していない場合)
受信時間(1回あたり)：約3.5～16分
自動受信：午前3時、午前4時、午前5時
電源：単3型乾電池1本(アルカリ乾電池推奨)⇒電池別売
▼充電は充電された状態であっても電圧が低く、当製品が正常に作
動しない場合がありますので、ご使用しないでください。
▼一部の高性能電池は初期電圧が高いため、当製品の使用に不向き
な場合があります。
電池寿命：約10ヶ月(アルカリ電池でご使用いただいた場合。標準時
刻電波の受信状況、ご使用状況などにより前後いたします)
付属品：取扱説明書(保証書付)⇒本書
主な機能：・標準時刻電波受信、・秒針停止(プログラム式。午前0時
～午前6時)⇒秒針停止機能を解除することは出来ません
主な材質：プラスチック、ガラス
生産国：中国

- ▼製品仕様は改良のため、予告無く変更する場合があります。
▼印刷による制限のため、この取扱説明書の図が実際の製品と異なる
場合があります。

IM No.YW9195 (Ver.1)

アフターサービス

- ▼取扱説明書内の『故障かな?と思ったら(裏面)』を確認しても直らない場
合はお求めの販売店、もしくは弊社「お客様相談室係」までご相談ください。
▼保証期間中は保証書の無料保証規定に従って、無料修理いたします。当
製品に保証書を添えてお求めの販売店もしくは、弊社「お客様相談室係」へ
お申し付けください。
▼保証期間経過後はお求めの販売店もしくは、弊社「お客様相談室係」で有料
修理を承ります。
▼外装部品やその他の付属品についての修理、製品交換などには類似の代
替品を使用する場合があります。

無料保証規定

- 本書は、本書記載内容で、無料修理をさせていただくことをお約束するものです。
1.取扱説明書の注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した
場合には、当製品と本書をご用意の上、お求めの販売店へご持参いただくか
弊社「お客様相談室係」へご相談ください。
2.ご転居、ご贈答品などで、お求めの販売店に修理依頼出来ない場合には、弊社
「お客様相談室係」へご相談ください。
3.保証期間内でも、次のような場合には、有料修理となります。
a)ご使用上の誤りや不当な修理、改造による故障や損傷。
b)お買い上げ後の転倒や落下、輸送等による故障及び損傷。
c)火災、地震、風水害、ガス害、落雷、その他の天変地変、公害や異常電圧、指定
外の使用電源などによる故障や損傷。
d)一般家庭以外(例えば業務用などの長時間使用など)でのご使用による故障
や損傷。
e)本書のご提示がない場合。
f)本書にお客様名、お買い上げ年月日、販売店名の記入がない場合、あるいは
字句を書き換えられた場合。
g)ご使用上のキズ、変色、汚れなど。
h)取扱説明書内の『当製品の使用場所について(裏面)』に記載されている
ような場所でご使用されたり、保管をした場合。
※ 運賃、諸掛費用は基本的にお客様にてご負担いただきます。
4.本書は日本国内においてのみ有効です。 This Warranty is valid only in Japan.
5.この保証書は本書に明示した期間、条件の下において無料修理をお約束するもの
です。この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。
6.お客様にご記入いただいた保証書個人情報は、修理・サービスに利用させてい
ただく場合がございます。
7.お買い上げ後、1年を超えてご使用されない製品をはじめてご使用される際に、
万が一不具合があった場合は有料修理となります。

保証書

よくにさんぎょう
輸入・発売元：株式会社 芳国産業
電話番号：03-3843-7841(お客様相談室係)
郵便番号：111-0043
住所：東京都台東区駒形2-4-11

(受付時間：土・日・祝日・長期休暇期間を除く、平日午前10時～午後5時まで)

この商品に関するお問い合わせをいただく際は、製品型番(YW9195)をお申し出いただくと、より円滑にご相談いただけます。

電波時計について

電波時計とは、正確な「日本標準時」をのせた標準時刻電波を受信して正確な時刻を表示する時計です。標準時刻電波は国立研究開発法人情報通信研究機構が管理・運営しており、福島県「おたかどや山-40kHz」と福岡県・佐賀県の県境「はがね山-60kHz」の2か所から送信されています。条件の良い時は送信所から1,200km離れた距離でも受信可能とされ、ほぼ日本全国をカバーしています。ただし、受信範囲内であっても天候・置き場所・時計の向き・地形・建物・時間帯などの影響で受信出来ない場合がございます。その場合はクォーツ時計としてこの取扱説明書の製品仕様に記載された精度(標準時刻電波を受信していない場合)で作動します。



標準時刻電波、標準時刻電波の送信状況に関する詳しい情報は、以下のホームページをご覧ください。

＜国立研究開発法人情報通信研究機構＞
<https://jjy.nict.go.jp/>

▼標準時刻電波の送信設備等の管理・維持の都合により、電波の送信が停止することがあります。

▼上記 URL は予告なく変更される場合があります。

電波時計の使用場所について

以下のような場所では、標準時刻電波を受信出来ない場合があります。



●マンションやビルなどの地下



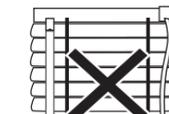
●高圧線、テレビ塔や電車の高架橋の近く



●電化製品やOA機器の近く



●自動車、電車、飛行機などの乗りものの中



●金属製の雨戸やブラインドの近く

- 工事現場、空港、交通量の多い所など、電波障害の起きる所。
- 金属製の家具の上など、電波を遮断する所。
- 周囲が山やビルなどに囲まれ、標準時刻電波の入りが悪い所。

標準時刻電波の受信について

標準時刻電波の受信をしない場合

⇒電波発信局の方角に近い窓際に当製品を置いて、再度受信をお試しください。

⇒電池を一旦取り外して、夜間に電池をセットしなおし、窓際に置いて朝まで様子を見てください(夜間は昼間と比較して、標準時刻電波の受信に成功しやすい傾向があります)。



標準時刻電波を受信しにくい場合
電池をセットしたら、受信が完了するまで窓際に置いてください。

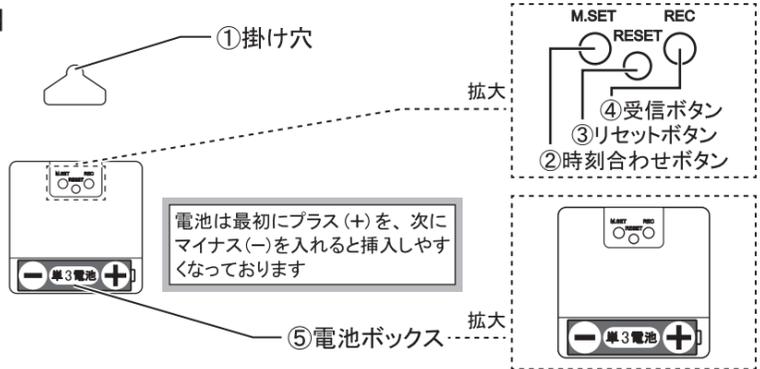


ご使用中に時刻が合わなくなってきた場合
受信していないか、電池が消耗している可能性があります。電池が消耗している場合は、新しい電池と交換し、窓際で再度受信をお試しください。

※上の写真は使用場所のイメージです。写真中の展示物は付属品ではありません。
※当製品を窓際に置く場合、直射日光が当たるなどして高温になる場所でのご使用はお控えください。また当製品が雨などに濡れないようご注意ください。

各部の名称

【裏面】



ご使用方法

【1】電池を入れる

電池別売 ⇒ 電池は付属されていません

単3型乾電池1本を「⑤電池ボックス」に電池のプラス(+)、マイナス(-)の方向を正しく入れてください。絶縁シートなどが付いている場合は取り外してからご使用ください。

▼電池のプラス(+)、マイナス(-)を間違った方向に入れ、放置しないでください。当製品の故障の原因となる場合や、電池の発熱、液もれなどの原因となります。

▼充電電池は充電された状態であっても電圧が低く、当製品が正常に作動しない場合がありますので、ご使用しないでください。

▼一部の高性能電池は初期電圧が高いため、当製品の使用に不向きな場合があります。

▼電池交換の際はアルカリ単3型乾電池をおすすめいたします。

【2】標準時刻電波の受信をはじめる

「⑤電池ボックス」に電池を入れると、時・分・秒針が動きはじめ、「12時」の位置で全ての時計針が停止し、自動的に受信を開始します。

▼標準時刻電波の受信を正しく行うために、この取扱説明書内に記載されている、『**電波時計の使用場所について**(裏面)』および『**標準時刻電波の受信について**(裏面)』をご参照ください。

▼標準時刻電波を正しく受信するために、受信中は当製品を動かさないでください。

▼標準時刻電波を正しく受信するために、「②時刻合わせボタン」および「④受信ボタン」の操作はお控えください(受信中に「②時刻合わせボタン」や「④受信ボタン」操作することで標準時刻電波の受信が中止される場合があります)。

▼当製品が標準時刻電波の受信に要する時間は、標準時刻電波の受信状態(全ての時計針が「12時」の位置で一旦停止した状態)となってから、約3.5分～約16分です。この間に標準時刻電波の受信に成功しない場合(現在時刻を表示しない)は、この取扱説明書内の『【3】受信結果を確認する』の『× 受信失敗』をご参照ください。

【3】受信結果を確認する

○受信成功

標準時刻電波の受信に成功すると時・分・秒針が動きはじめ、現在時刻を示します。

× 受信失敗

標準時刻電波の受信に失敗すると、受信を開始してから約16分後(当製品の受信状況により約16分より前の場合もあります)に「12時」の位置から秒針が動きはじめます。このような場合は、後述の(対処1)～(対処3)のいずれかの方法をお試しください。



標準時刻電波の受信に失敗すると「12時00分00秒」から秒針が動きだします。

(対処1)

この取扱説明書内に記載されている、『**電波時計の使用場所について**(裏面)』および『**標準時刻電波の受信について**(裏面)』を確認し、受信しやすい場所で再度受信を試みる。

(対処2)

一昼夜様子を見る(昼間は標準時刻電波の受信を阻害する電波が存在する場合があります。夜間は昼間と比べて標準時刻電波の受信を阻害する電波が少ないため、受信しやすい環境になる傾向があります)。

(対処3)

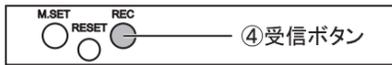
『【6】手動で任意の時刻に合わせる』を参照し、手動で時刻設定を行います。当製品には標準時刻電波を自動で受信する、「自動受信機能」がついておりますので、受信環境が良い場合、手動で設定された時刻が自動的に補正されます。

【4】自動受信について

当製品はあらかじめ自動的に標準時刻電波の受信を行う時刻が設定されています。自動受信で標準時刻電波を正しく受信すると、受信した時刻に当製品は時刻修正を行います。

▼自動受信時刻は1日3回(午前3時、午前4時、午前5時)です。

【5】手動で受信させる



「④受信ボタン」を約2秒押し続けると、任意に受信を開始させることができます。このとき時・分・秒針が停止し、受信を開始します。

▼この操作で受信に失敗すると受信を開始した時刻に、受信に要した時間が加算された時刻が表示されます。また、受信中に「④受信ボタン」を約2秒長押しすると受信が中止されます(秒針は約1分以内に停止状態が解除され、再び動きはじめます)。

▼この操作による受信時間は約3.5分～16分です(ご使用場所の受信環境により異なります)。

【6】手動で任意の時刻にあわせる

当製品は手動で任意の時刻にあわせることができます。

「②時刻合わせボタン」を約2秒押し続ける

⇒ 秒針が停止し、分針が高速で動きはじめる“時刻合わせモード”になります(ただし秒針停止機能中は秒針は“12時”の位置で停止したままです。秒針停止機能については取扱説明書内の「**秒針停止機能について**」をご参照ください。

“時刻合わせモード”中に「②時刻合わせボタン」を1回押す ⇒ 時刻が1分進みます。

“時刻合わせモード”中に「②時刻合わせボタン」を長押し ⇒ 早送りで時刻が進みます。

▼“時刻合わせモード”中に約7秒間操作を中断すると“時刻合わせモード”が解除されます。

▼手動で時刻をあわせる場合、秒針を任意に操作することは出来ません。

▼標準時刻電波の受信中に「②時刻合わせボタン」を約2秒押しして“時刻合わせモード”にすると、電波の受信は取り消されます。

掛けてご使用いただく場合

取扱説明書内の『▼時計の掛け金具について』および『▼時計の掛け方』をよくお読みいただき掛け金具に「①掛け穴」がしっかり掛かっていることをよく確認してください。

秒針停止機能について

当製品は午前0時から午前6時まで自動的に秒針が停止する、秒針停止機能がついております(秒針停止機能中であっても、時・分針は作動します)。

▼秒針が停止することで、電池の使用量を削減するための機能です。

▼秒針停止機能を解除することは出来ません。

故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったら、修理に出す前に下記の点をご確認ください。

▼時・分・秒針が動かない

- ・標準時刻電波の受信中 ⇒ 標準時刻電波を受信すると、受信した時刻で時を刻みます。
- ・電池が入っていない ⇒ 電池が入っていない場合は電池を入れてください。
- ・電池のプラス(+)、マイナス(-)があていない ⇒ 電池の方向をご確認ください。
- ・電池の容量が少なくなっている。 ⇒ 新しい電池に交換し、様子を見てください。
- ・静電気などの影響による誤動作 ⇒ 「③リセットボタン」を押して、様子を見てください。

▼時間が合わない

・標準時刻電波を受信しにくい環境にある ⇒ 取扱説明書内の「**電波時計の使用場所について**(裏面)」および「**標準時刻電波の受信について**(裏面)」を確認し、受信しやすい所に場所をかえてください。

・電池の容量が少なくなっている。 ⇒ 新しい電池に交換し、様子を見てください。

▼秒針が動かない

・秒針停止機能中である ⇒ 当製品には午前0時から午前6時まで秒針が停止する、秒針停止機能がついております。

▼当製品が操作できない

・静電気などの影響 ⇒ 「③リセットボタン」を押して、再度お試しください。

お手入れについて

本体の汚れは水洗いせず、スポンジかやわらかい布に家庭用の中性洗剤を含ませて汚れを落とし、乾いたやわらかい布で拭いてください。

▼ベンジン、シンナー、漂白剤などの薬品は使わないでください。

▼静電気などにより、当製品を掛けて使用した際に壁面が汚れる場合があるので、定期的に汚れを落としてください。

当製品、電池、梱包材などの廃棄

▼お住まいの地区自治体の廃棄方法に従ってください。

▼当製品、電池、梱包材などは分別して廃棄してください。

▼この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁止します。

▼当製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いません。

安全上のご注意 (必ず守ってください)

ここに示す内容は、商品を安全に正しくご使用いただき、お使いになる人や、他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。ご使用前によくお読みの上、お読みになった後はいつでも見られるところに必ず保管してください。

表示内容を無視して、誤った使い方により生じる損害や危害の程度を区分する記号	
	警告 人が死亡または重症などを負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意 人が傷害を負う可能性や、物的損害が生じる可能性を示しています。
必ずお守りいただく行為(強制)と禁止行為を区分する記号	
	絶対にしてはいけない禁止行為を示す記号です。
	必ず守らなければいけない行為(強制)を示す記号です。

▼電池について

分解、ショート(短絡)などをしないでください。液もれ、発熱、破裂の原因になります。
 警告 また、火中に入れる、強い衝撃を与えるなど、絶対にしてしないでください。

注意 電池からもれた液が目に入った場合は、失明する恐れがありますのですぐにきれいな水で洗い、直ちに医師の治療を受けてください。皮膚や衣類などに付着した場合にはきれいな水で洗い流してください。

注意 ・プラス(+)、マイナス(-)の方向を正しく入れてください。
・長時間使用しないときは、電池を必ずはずしてください。液もれにより当製品や周囲の物を汚したり、傷めたりする恐れがあります。

電池に直接ハンダ付けをしたり、水で濡らしたりしないでください。液もれや破損などの恐れがあります。

注意 電池を保管する際は高温・高湿な場所や直射日光が直接あたるところは避けてください。また、使用済みの電池はお住まいの地区自治体の廃棄方法に従って、速やかに廃棄してください。液もれや破損などの恐れがあります。

注意 電池の端子の汚れにより、当製品が使用できない場合があります。その際は乾燥したやわらかい布などで電池の端子を拭いて汚れをとってからご使用ください。

注意 電池に推奨使用期間が表示されている場合、期間を過ぎた電池のご使用はお控えください。液もれや破損などの原因になります。

注意 当製品が使用可能でも液もれなどを防ぐために、定期的に電池交換をしてください。

▼誤飲による事故防止について

電池や部品は幼児の手の届かぬ所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合はすぐ
 警告 に医師の治療を受けてください。

▼梱包用袋について

梱包用の袋は絶対にかぶらないでください。また、幼児の手の届かぬ所に置かないでください。
 警告 さい。

▼分解禁止について

当製品を分解したり、改造しないでください。故障の原因になります。

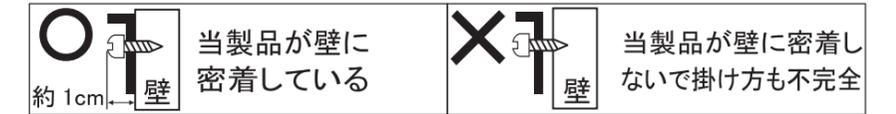
注意

▼時計の掛け金具について

注意 当製品を掛ける壁の材質・構造をご確認のうえ、当製品の重さに耐えられる掛け金具をお選びください。

▼時計の掛け方

当製品を掛けるときは、必ず垂直な壁に取り付け、上下左右に軽く動かして確実に掛かっているかを確認してください。掛け方が不十分ですと当製品が落下し、けがや当製品の破損などの原因となります。



当製品の使用場所について

下記のような所では当製品の使用や保管をしないでください。

- ・温度が+40℃を超える所。例えば、直射日光や暖房器具の熱風が当たる所、火気に近い所や屋外など。
- ・温度が+5℃より下になる所。
- ・ほこりや塵が多い所。
- ・湿気が多い所(加湿器の蒸気があたる所など)、水が直接掛かる所(当製品は防水ではありません)。
- ・強い磁気のある所、激しい振動のある所(ドアの開閉により振動が発生しやすい所などを含む)。
- ・多くの油を使用する所。
- ・当製品が倒れたり、落ちたりしそうな不安定な所。
- ・ビニール系素材の敷物の上や壁など(敷物や壁、当製品が汚れたり、傷んだりすることがあります)。
- ・幼児の手が届く所。
- ・防虫剤などのすぐそば。
- ・ガスなどの発生するおそれがある所(プール、温泉浴場など)。
- ・塩害が想定される所。
- ・電磁調理器の上やそのかたわらなど。